



す

み

た

い

ま

ち

か

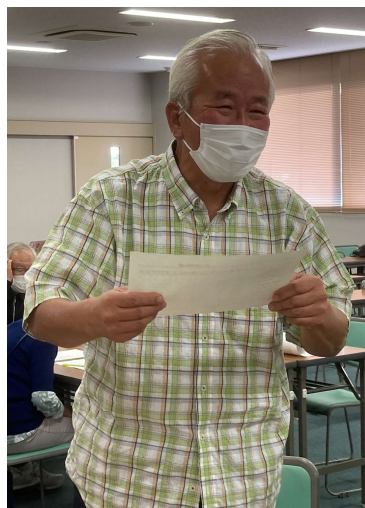
た

ひ

ら

に

!



みんな事ワークショップで 地域のSDGs目標を考えてみた

開催の様子

令和5(2023)年10月25日(水)、片平ふれあいセンター研修室で2023年度片平学区ローカルSDGsプロジェクト「SDGs! みんな事ワークショップ」の3回目の会合を行いました。

杉野友昭・片平学区連絡協議会会長の冒頭あいさつに続き、松本イズミさん(なごや環境大学実行委員)とともに第2回ワークショップ(8月17日開催)の振り返りを実施。プロジェクトの前年度の活動で実施したアンケート調査の結果を踏まえ、11項目にわたる片平学区独自のSDGsゴール案が提案されたことを確認しました。

続いて、プロジェクトリーダーの千頭聡さん(なごや環境大学実行委員、日本福祉大学国際福祉開発学部特任教授)が、前回のワークショップでの意見を踏まえて修正した片平学区独自のSDGs目標案(第3次案)を提示。その内容について参加者が4つのグループに分かれ、ディスカッションを行いました。白熱した議論の末、各グループより建設的な意見が多く出されました。最終案はこれらの意見を踏まえ、11月23日(木・祝)に開催されるSDGsつマルシェで発表されます。

みんなの意見

生き物に絡めて「森」もキーワードに

災害対策についての目標があっても良い

ゼロカーボンという言葉は難しい

地域ぐるみで子育てをしていくキーワードを盛り込んではどうか

片平学区ローカルSDGsプロジェクトとは…

片平学区を「ずっと住み続けたい」と思えるようなまちにしていくため、令和4(2022)年度にスタートしたプロジェクト。昨年度と今年度の2年間の期間限定事業で、2年をかけて片平学区独自のSDGsゴールを定め、実践していく筋道をつけるのが目標となります。

片平独自のSDGsゴールを

第3回みんな事ワークショップで示された第3次案は以下の通りの内容です。「すみたいまちかたひらに」というキーワードの頭文字から連想されるゴールがそれぞれ設定されています。「み」「た」「い」など複数示されたゴール案については、参加者によって投票が行われ、「み」は「みんなで身近に緑と花づくり」、「た」は「たくさん創りたい、生き物と出会える場所を」、「い」は「一緒に参加しよう健康づくり」が多くの得票をえました。これらの意見を参考に片平学区のゴールがよいよ策定されます。

片平ゴールズ（第三次案） 231025版

	片平SDGs(第二次案)	解 説	指標(例)
す	進めよう!学校・家庭・地域の連携を	学校を地域ぐるみで応援するとともに、地域や家庭が連携して、子どもの育ちや多様な学びを応援し、時代を担う片平っ子を応援しましょう。子どもの学びは大人にとっても学びの機会となります。	・学校・地域・家庭の連携事業
み	緑と花にあふれる街 みんなで身近に緑と花づくり 身近な場所から緑と花づくり みんなで参加 緑と花づくり	旧東海道を花と緑でいっぱいにして、という初心を忘れずに、身近に緑を感じ、花があふれる街に。	・緑の面積 ・緑と花を意識した暮らしを実践している人
た	大切にしよう!生き物とのふれあい たくさん創りたい、生き物と出会える場所を	生き物と出会いやふれあいは、大人にとっても子どもにとっても大切な機会、体験です。公園はもとより、家庭植え込みやベランダの緑、事業所の緑化スペースに、色々な生き物と出会える工夫としかけを考えましょう。名古屋市では近く、生物多様性実行計画を策定・公表します。片平学区も、その先頭に立ちましょう。	・出会える生き物の種類
い	いつまでも健康で 一緒に参加しよう健康づくり	すべての人がいつまでも元気で社会とかかわりあいながら過ごせるように、健康寿命を伸ばしましょう。そのために、様々な健康づくりの機会を増やし、みんなで取り組みましょう。	・健康で生活している高齢者の割合
ま	まつりと伝統文化を受け継ごう	千鳥塚や赤塚古墳などの歴史遺産、鳴海祭などの伝統的なまつり、旧東海道などの史跡を大切に次世代に受けついでいきましょう	・伝統と文化資源が豊かだと感じる人の割合
ち	地産地消、朝市で語ろう	身近に取れた農産物をみんなで意識して消費し、地域の農業を応援し、地域の輪を広げ、食料自給率の向上に貢献する暮らしを実現しましょう。朝市は片平学区の私たちにあって、とても大切な語らいと交流の場でもあります。	・地域の農産物を購入できる場所
か	快適・便利 まちなか居住	買い物、医療など暮らしを支える機能の充実と、高齢者を含めて交通弱者を生み出さないように都市機能を整備・維持し、利便性と快適性を兼ね備えたまちなか居住を実現しよう	・くらしが便利だと感じる人の割合 ・くらしが快適だと感じる人の割合
た	楽しく進めるゼロカーボンくらし	地球温暖化防止について片平学区から貢献するために、LED化やアルミ缶リサイクルに加えて、新しい技術も積極的に取り入れ、ワクワク楽しみながら、ゼロカーボンの暮らし方を実践しよう。さらに、食材を無駄にせず、家庭や飲食店、小売店で食品廃棄をゼロにしましょう。子ども食堂も積極的に支援しましょう。	・ゼロカーボンへの取り組みと工夫 ・食ロスに取り組む家庭・事業所の数
ひ	広げよう つながり、深めよう きずな	誰一人取り残さないという国連SDGsの基本原則は片平にとっても大切。子どもから高齢者まで地域に居場所と安心感がある街にするため、つながりときずなを合言葉に地域を元気にしていきましょう。	・地域に居場所があると感じられる人の割合
ら	らしさを大切に	ジェンダーや国籍を理由として選択肢が狭まることのないように、すべての人が自らの未来を切り開いていけるようにします。千鳥丘中学生も積極的に取り組んでいます。	・ジェンダー格差がないと感じる人の割合
に	ニコニコ笑顔があふれる街に	心と体の健康、人と人との出会いとつながり、すべては笑顔から始まります。これまでも片平学区が大切にしてきたキーワード。	・できるだけ笑顔を心掛けている人

11月23日（木・祝）は SDGsマルシェへ行こう！

11月23日は今年2月の開催に引き続き、2回目となるSDGsマルシェが行われることになりました。

この催しは地域の資源(ヒト・モノ・コト)を有機的につなげるために行われるものです。

当日は地元産の採れたて野菜や新鮮な海の幸、手作りスイーツやパンなど、美味しいグルメを販売するブースが数多く出店。ハンドメイドの雑貨屋おもちゃなどの買い物も楽しむことができます。

また、SDGsスタンプラリーやSDGsゲームといった体験イベント、エコクラフトやアロマについてが学ぶことができるワークショップもあるなど、盛りだくさんの内容となっています。

時間は午前10時～午後4時まで。入場無料で、子供からお年寄りまで誰でも楽しめるので、秋の1日をSDGsマルシェで思い切り楽しみましょう。

片平学区ローカルSDGsプロジェクト 

地域の資源(ヒト・モノ・コト)を有機的につなげる
思いやりあふれるマルシェやトークがいっぱい♪

KATAHIRA

SDGs
マルシェ2023

日時：令和5年11月23日(祝・木)
10:00～16:00(予定)

場所：片平ふれあいセンター

